

# 民族薬物資料館

# Museum of Materia Medica

館長	小松 かつ子	Curator	Katsuko Komatsu (Ph.D.)
特命准教授	伏見 裕利	Associate Professor	Hirotooshi Fushimi (Ph.D.)
技術補佐員	出口 鳴美	Research Assistant	Narumi Deguchi

## ◇目的

世界の諸民族の伝統薬物を蒐集、保存、展示するとともに、それらの学術情報を収載したデータベースを構築し、伝統薬物に関する共同研究を推進する。

## ◇活動概要

### I) 民族薬物データベース (ETHMEDmmm) の構築

当資料館には、和漢薬、アーユルヴェーダ生薬、ユナニー生薬、タイ生薬、インドネシア生薬、チベット生薬など約 27,000 点の生薬標本が保存されている。これらに関するデータベースを順次開発し、生薬標本情報並びに学術情報を整理し、構築している。本年は、資料館生薬について、27,000 番までの目録の整理を行い、生薬標本情報の追加を行った。

### II) 薬草古典データベースの構築

中国薬草古典「証類本草」データベース：『証類本草』収載品で、日本でも民間薬として利用される生薬を中心に 9 項目の翻訳を進め、生薬 3 項目を校正し、データベースに登録した。

### III) 「民族薬物資料館」3 階の改修工事

6 月 28 日から 11 月 30 日の日程で、民族薬物資料館 3 階の改修工事を行い、会議室、教員室、書籍保管室、国際交流拠点/共同利用・共同研究拠点研究室 I、共同利用・共同研究拠点研究室 II、サーバー室、展示物保管室を整備した。

### IV) 一般公開

第 15 回民族薬物資料館一般公開：平成 23 年 6 月 4 日（午前 10 時～午後 4 時）

1 日 3 回各 1 時間、植物に由来する薬用人参、竹節人参、大黃、甘草などの生薬を中心として館内を案内した。来館者は 17 名。

第 16 回民族薬物資料館一般公開：平成 23 年 10 月 30 日（午前 10 時～午後 4 時）

1 日 3 回各 1 時間、香りのする生薬（伽羅、沈香、白檀など）の解説を中心として館内を案内した。さらに漢方体験講習として、富山大学大学院医学薬学教育部和漢診療学講座の木村真梨先生による「経絡とツボ」、及び民族薬物資料館の伏見裕利先生により「和風アロマセラピー」を開催した。

来館者は 139 名、講演会参加者は 75 名。この一般公開は同研究所生薬資源科学分野の全面的な協力の下に行われた。

## ◇著 書

- 1) 伏見裕利：鉍物生薬。「新訂生薬学」改訂第7版，木村孟淳，田中俊弘，水上元編集，229-231，南江堂，東京，2011.

## ◇学会報告

- 1) 小松かつ子，伏見裕利，民族薬物データベース作成委員会，証類本草データベース作成委員会：民族薬物資料館ポスター．国立大学博物館等協議会2011年大会（第6回博物科学会），2011，6，23-24，名古屋.
- 2) 伏見裕利：杜仲葉に含有される無機成分に関する研究．第28回和漢医薬学会学術大会，2011，8，27-28，富山.
- 3) 伏見裕利：マウスにおける抗癌誘発疼痛に対する5種類の漢方方剤の薬効評価．第28回和漢医薬学会学術大会，2011，8，27-28，富山.
- 4) 伏見裕利：アーユルヴェーダで使用される鉍物性生薬の基原に関する研究．第33回日本アーユルヴェーダ学会，2011，10，28-30，金沢.
- 5) 伏見裕利：アーユルヴェーダで使用される鉛化合物に由来する鉍物性生薬に関する研究．第33回日本アーユルヴェーダ学会，2011，10，28-30，金沢.
- 6) 伏見裕利：生薬「滑石」の基原について：X線粉末回折及び味認識用脂質膜センサによる識別．日本薬学会第132年会，2012，3，28-31，札幌.

## ◇その他

- 1) 伏見裕利：伝統医学の立場から見た養生法 —その1—，富山大手町ロータリークラブ，2011，4，11，富山.
- 2) 伏見裕利：伝統医学の立場から見た養生法 —その2—，富山大手町ロータリークラブ，2011，4，25，富山.
- 3) 伏見裕利：伝統医学の立場から見た養生法，とやま薬草同好会第18回総会，2011，5，15，富山.
- 4) 伏見裕利：生薬の分類，平成23年度第3回漢方と生薬講座，2011，6，18，富山.
- 5) 小松かつ子，伏見裕利：民族薬物資料館の紹介．富山大学ガイド2011，2011，6，富山.
- 6) 伏見裕利：世界の伝統医学について，同志社女子大学薬学部，2011，7，18，奈良.
- 7) 小松かつ子，伏見裕利：民族薬物資料館の紹介．日経BPムック「変革する大学」シリーズ，富山大学2011-2012年版，p.66-67，2011，8，13，富山.
- 8) 伏見裕利：民族薬物資料館に保存されている生薬の紹介，和漢医薬学総合研究所夏期セミナー，2011，8，22，富山.
- 9) 伏見裕利：丸薬，湯液をつくってみよう，和漢医薬学総合研究所夏期セミナー，2011，8，23，富山.
- 10) 伏見裕利：天然由来薬効成分の種類と効能について，北陸3県繊維産業クラスター協議会研究開発部会，2011，10，27，富山.
- 11) 川原信夫：独立行政法人医薬基盤研究所，「日本薬局方の試験法に関する研究」：「各種漢方処方に配合される鉍物生薬カッセキの性状，確認試験等に関する検討」，2007～
- 12) 小松かつ子，伏見裕利：富山大学和漢医薬学総合研究所民族薬物資料館の紹介．富山市民大学講座，2011，11，18，富山.
- 13) 伏見裕利：更年期障害に使用される漢方方剤中の生薬，平成23年度第7回漢方と生薬講座，2011，11，19，富山.

- 14) 伏見裕利：第4回和漢薬の科学研究国際シンポジウム，—伝統医学における基礎・臨床研究—報告，HIAC NEWS, Vol.84, P.6-7, 2012. 2 石川.

#### ◇共同研究

##### 国内

- 1) 川原信夫：独立行政法人医薬基盤研究所，「各種漢方処方に配合される鉱物生薬カッセキの性状，確認試験等に関する検討」，2007～

#### ◇研究費取得状況

- 1) 文部科学省科学研究費，基盤研究C（代表：伏見裕利）「日本民間薬の現地調査と民族薬物データベースの充実」. 100万.  
2) 平成22年度厚生労働省科学研究費補助金，地域医療基盤開発推進研究事業（分担：伏見裕利）「漢方処方配合生薬の安定供給及び持続的品質保持における国際標準化に関する研究」45万.

#### ◇記録

##### I) 見学者（2011年4月1日～2012年3月31日）\*

来館者総数：774名（日本人672名，外国人102名）

案内総回数：101回（日本人81回，外国人20回）

外国人の国名（人数）：中国(22)，韓国，モンゴル(各15)，インドネシア(9)，タイ，マレーシア(各6)，米国，ミャンマー(各4)，イギリス，台湾(各3)，インド，カナダ(各2)，アルゼンチン，イエメン，イラン，オーストラリア，ガーナ，カンボジア，ドイツ，ベトナム，ボリビア，ヨルダン，レバノン(各1)

主な来館者の所属先

【海外】中国（WHO，南京中医薬大学，黒竜江中医薬大学，瀋陽薬科大学など），韓国（慶熙大学，釜山大学，国立順天大学など），モンゴル（WHO，モンゴル医師研修団），タイ（チェンマイ大学，チュラロンコン大学など），インドネシア（ガジヤマダ大学，ボゴール農業大学など），台湾（台北医学大学，嘉義大学）

【国内】文部科学省，国公立大学12校，日本学術振興会，富山県立富山いずみ高校，富山県立福野高校，富山市民大学講座，他

\*資料館3階改修工事期間（6月28日～11月30日）

##### II) 民族薬物データベース（2011年4月1日～2012年3月31日）

アクセス数：13,339件

専門検索アクセス数：992件（日本語843件，英語149件）

専門検索登録者数：40名（日本語32名，英語8名）（全1,412名）

一般検索アクセス数：1,336件（日本語1,105件，英語261件）

##### III) 証類本草データベース（2011年4月1日～2012年3月31日）

アクセス数：1,187件

専門検索登録者数：44名（全196名）